

公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業報告

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大によって、観光・MICE関連事業者は大きな影響を受けており、令和2年度は当初計画を見直し、身近な観光資源の掘り起こしや磨き上げなどマイクロツーリズムの取り組みによる地域と連携した需要喚起策や安全・安心な受入環境の向上、経済活動への支援などを行った。

また、MICEについては、with コロナ期に対応した環境整備など安全なMICE開催への支援を推進するとともに、オンライン等による誘致活動や海外向け情報発信を強化するなど、地域経済の回復・活性化に向けて取り組んだ。

※ 変更事業

1 福岡の魅力づくり

福岡市の食、歴史、文化、祭り、自然などの観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来福者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組んだ。

(1) 地域資源を活かした観光振興

観光産業への支援等に取り組むとともに、地域資源を活かした体験プログラムの造成、まち歩きの実施、イベント情報の発信などを行った。

① 観光産業への支援 ※新たに対応

ア クラウドファンディングによる宿泊事業者への支援事業

〔募集期間 6月12日～28日、登録 30 施設〕

イ 飲食店テイクアウト支援業務

〔募集期間 5月8日～21日、認定件数 3,315 店舗〕

② まち歩きコースの実施 ※10月より受付再開

ア まち歩きコース（募集分）〔3回、参加者数：24名〕

イ まち歩き（ガイド派遣）〔29回、参加者数：324名〕

③ 福岡市観光案内ボランティアの運営 〔登録数：64名〕

ア 「博多町家」ふるさと館、市役所1階ロビーで観光案内 ※9月より一部再開

イ スキルアップ研修の実施



< まち歩き >

④ 各区役所と連携した観光コンテンツの検討 ※新たに対応

ア 「福岡よかところ “深” 発見会議」の設置

イ 観光コンテンツ、イベントの情報共有・発信

⑤ 観光ガイドアドバイザーの新設によるガイドツアーの企画・実施

⑥ 観光情報の発信

- ア 観光情報サイト「よかなび」での情報発信〔イベント等：245件〕
- イ 観光案内ボランティアの「まち歩き」動画制作・配信 ※新たに対応〔SNS等で6回配信（歴史、文化など）〕

⑦ 体験型観光の振興

- ア インバウンド向けの体験型観光商品の造成
- イ 三の丸スクエア内「舞遊の館」の管理運営 ※一時休館：4月3日～5月17日〔利用者数：821名〕
- ウ 福岡市博物館との連携
博物館開館30周年記念展「ふくおかの名宝」開催に合わせ、着物とランチのセットプランを企画・実施〔10月10日～11月29日、利用者数：444名〕
- エ 福岡城「御城印」の販売〔10月10日～3月31日、販売数：1,509枚(300円/枚)〕



<御城印>



<おもてなし武将隊(博物館30周年)>

- オ 福岡おもてなし武将隊〔活動回数：2回〕
- カ 西部ガス「食文化スタジオ」とのコラボ企画を開催〔2月27日、“鯛”の魅力とおもてなし料理講座、参加者数：20名〕



<講師・参加者による実習>

(2) 祭りの振興 ※「博多どんたく港まつり」開催中止、「博多祇園山笠」行事延期

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」や「博多祇園山笠」などの祭り、文化的行事の継続的な振興のため運営、支援を行う。

(3) 福岡検定の実施

福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡への愛着を深めてもらうとともに、市民のおもてなしの心の醸成を図るため、福岡検定をオンラインで実施した。

	申込者数	受験者数	合格者数
元年度	687人	614人	396人
2年度	840人	811人	552人

(4) 受入環境の向上

外国人観光客を含む来訪者が快適に過ごせる受入環境の整備に取り組んだ。

① 観光案内機能の強化

ア デジタルを活用した「リモート観光案内」の実証事業 ※新たに対応

福岡市観光案内所（天神・博多駅）及び観光施設において、デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内の実証事業を行った。

〔11月20日～2月28日、案内人数：399名〕



<リモート観光案内>

イ 災害時の観光客対応強化

災害時に備え、非常用電源・携帯充電設備を福岡市観光案内所（天神・博多駅）に設置した。

② 観光案内所の管理・運営

() 内は対前年比

	利用者数	うち外国人
博多駅	98,504人 (24.0%)	2,520人 (2.1%)
天神	62,707人 (42.9%)	261人 (1.5%)

※一時休業（電話対応のみ）：博多駅4月9日～5月18日、天神4月8日～5月18日

③ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営 ※事業中止

④ ウェルカムサポーターの運営 ※事業中止

⑤ 観光ガイドブックの発行 ※事業中止

2 観光客の誘致・受入

地域や関係団体・機関と連携し、国内外から観光客の誘致を促進した。

(1) 観光庁「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業 ※新たに対応

民間との連携による観光資源の磨き上げなどにより、新たな福岡観光スタイルのコンテンツ造成（文化・伝統・エンタメ、自然）に向けた実証事業を行った。

① 都市型コンテンツの企画・造成

博多・那珂川リバークルーズのモデルプラン（3種類）

〔2月（2回） オンラインモニター：95名〕

② 郊外型コンテンツの企画・造成

西部海辺エリアでの体験イベント及び体験アクティビティ（6種類）

〔1月～2月（5回） 参加者数：延べ113名〕



<都市型（リバークルーズ）>

<郊外型（唐泊ビレッジ）>

(2) **国内誘致宣伝事業** ※事業中止

国内観光客の増加に向け、修学旅行の誘致や観光展への出展などの取組を推進する。

(3) **海外誘致宣伝事業** ※事業中止

福岡との直行便が就航している国や地域に対し、プロモーション事業等を実施する。

- ① 国際観光展出展、インバウンド商談会参加
- ② 旅行業者訪問やマスコミ等の招へい

(4) **外国クルーズ客船受入事業** ※事業中止

外国クルーズ客船寄港に対して、観光案内や歓迎演出を実施する。

- ① クルーズ船観光客への観光情報の提供
- ② クルーズ客船寄港時の歓迎演出の実施

(5) **デジタルマーケティングの普及啓発** ※事業中止

観光産業事業者向けに観光客ニーズ等の分析や情報提供、デジタル活用の普及を促進する。

(6) **多様な連携**

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市との情報交換・連携を実施した。

[九州観光推進機構、九州主要都市観光協会連絡協議会、福岡県観光連盟、福岡地区観光協議会など]

3 MICEの誘致・支援

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大で、MICE業界は大きな影響を被った。MICEの誘致及び支援をワンストップで行うMeeting Place Fukuoka (MPF) では、オンラインとリアル開催を組み合わせた「ハイブリッド型MICE」などの開催支援を行うとともに、数年先に開催予定のMICE誘致に向け、オンライン商談など、新しい生活様式に対応した営業活動を行った。

(1) **グローバルMICE誘致強化事業** ※事業中止

質の高いMICEの誘致に向けて体制を強化し、営業活動や支援の拡充に取り組む。

- ① MPFのグローバル人材の増員
- ② 国際会議誘致のための助成制度の新設
- ③ 博物館のユニークベニューショーケースイベント等の開催

(2) コンベンションの誘致

コロナ禍でセールス活動に制限がある中、オンラインを活用するなど、新しい生活様式に対応した積極的な誘致活動を行った。

[誘致実績]

	国内コンベンション	国際コンベンション
元年度	57件	78件
2年度	38件	17件

国内は1,000名以上案件

① コンベンションの誘致活動

ア 地元・首都圏等でのセミナー開催や個別営業

[10月～11月 首都圏セールス] ※MICEセミナー（東京）は中止

イ MICE主催者等招聘、海外キーパーソンへのセールス ※事業中止

ウ MPFのグローバル人材を補充

国際会議の誘致や訪日インセンティブツアーの市場開拓を目的に、グローバル人材を採用し、MPF営業体制を強化した。

② MICE見本市・商談会への参加

名称	期間	場所	商談件数
ICCA 総会	11月1日～3日	オンライン	21
フィンテック・フェスティバル	12月7日～11日	オンライン	15
ICCA アジア太平洋サミット	12月15日～16日	オンライン	6
Meet Japan 商談会	1月26日～2月4日	オンライン	15
国際MICEエキスポ(IME)	2月24日～26日	オンライン	23
ITB Berlin NOW	3月9日～12日	オンライン	15

③ オンラインでのFAMトリップ ※新たに対応

[3月25日、対象者：国内外の旅行会社・MICE関連事業者、参加者数：世界14か国、延べ385名が視聴（日本語・英語・中国語の3言語で配信）]



<日本語配信>



<英語配信>



<中国語配信>

④ マーケティング活動

海外及び首都圏とのネットワークの活用による情報収集、市場動向などリサーチ活動を行った。

(3) コンベンションの支援

開催されたコンベンションの準備段階から開催に至るまで、様々な支援を提供した。

① MICEのハイブリッド開催支援助成金 ※新たに対応

ア MICE施設向けハイブリッド開催支援助成金の交付

〔募集期間：10月13日～1月8日、支援件数：27件〕

イ MICE主催者向けハイブリッド開催支援・安全対策支援助成金の交付

〔募集期間：10月13日～3月15日、支援件数：27件〕

② 国際・国内大規模コンベンション開催資金の助成 ※交付実績なし

③ コンベンションサポート事業〔サポート件数：39件〕

(4) MICE人材育成事業 ※事業中止

前年度修了生とのオンライン面談や、次年度以降の研修に向けた準備などを行った。

(5) コンベンション関係団体との連携

コンベンション関係団体との緊密な連携・関係強化を図ることにより、コンベンション誘致に係る情報収集やプロモーション活動などを行った。

① 九州各都市コンベンション協会との連携

〔11月 総会(長崎)・2月 実務者会議(オンライン)、首都圏共同プロモーション等の協議を行った〕

② 日本政府観光局(JNTO)との連携

〔1月 JNTO主催「Meet Japan事業」に参加し、国際会議主催者向けの都市視察動画を共同制作して、オンラインFAMトリップを実施した〕

③ MPIへの入会

ア コンベンション関係者の国際的なネットワークである「Meeting Professionals International (MPI)」日本支部に入会した。

イ 国内外会員とオンラインにより、最新のMICE動向など情報収集を実施した。

(6) 地元学術界・産業界とのネットワーク

在日フランス商工会議所と「経済フォーラム」を共催し、地元企業等にビジネスマッチングの機会を提供した。〔9月23日 電気ビル共創館、参加者数：84名〕



<フランス-福岡(九州)経済フォーラム>

(7) インセンティブツアーの誘致

ポスト・コロナ期を見据えた、オンライン商談会などに積極的に参加した。

① インセンティブツアー誘致活動

名 称	期 間	場 所	商談件数
JNTO マレーシア商談会	1月13日、19日	オンライン	15
JNTO 豪州・ニュージーランドインセンティブセミナー	3月10日、16日	オンライン	8
JNTO タイ旅行会社向け訪日オンライン商談会	3月12日	オンライン	3



<豪州・ニュージーランド商談会>

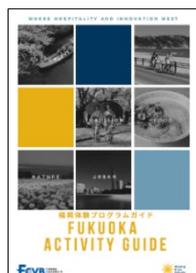
② インセンティブツアー歓迎事業 ※事業中止

③ おもてなし体験プログラムの開発 ※新たに対応

ア インセンティブツアーを対象に、「福岡体験プログラムガイド」を作成した。

〔体験プログラム：43件（チームビルディング、伝統文化体験など）〕

イ 国内外の旅行会社、JNTO海外事務所等へ配信（電子パンフレット）。



<体験プログラムガイド>

④ SITEへの入会

ア インセンティブ旅行に関する国際的な旅行業界団体「SITE (Society for Incentive Travel Excellence)」に入会した。

イ 2月2日～3日 世界総会に参加（オンライン）し、各国動向の情報収集を行った。

4 広報・情報発信

福岡の観光及びコンベンションに関する最新情報を提供した。

(1) 海外への情報発信強化 ※新たに対応

英語・中国語によるSNSアカウントを新たに開設し、情報を配信した。

SNS	開設日	投稿数
Facebook（英語）	2月11日	21
Facebook（中国語）	9月23日	32
Twitter（英語）	9月23日	85
Linkedin（英語）	9月23日	25

(2) 広報活動

- ① 財団ホームページ及び「よかなび」の管理運営
- ② 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行〔年4回、各2,500部発行〕
- ③ 海外メディアへの取材受入支援、情報提供〔取材対応・支援：3件〕

5 賛助会員・組織運営

賛助会員向けに交流会の開催や海外向けデジタルセミナーを実施した。また、会議・展示会などの情報提供などを行った。

(1) 賛助会員交流会、セミナー

- ① 賛助会員交流会の開催〔11月25日福岡国際会議場、参加者数：約200名〕



<交流会場内>



<感染症対策>

② デジタル活用セミナーの実施 ※新たに対応

賛助会員等を対象に、海外に向けた情報発信としてSNSなどデジタル活用のセミナーをオンラインで実施した。

開催日	テーマ	受講者数
3月2日	SNS 基礎編	29名
3月9日	Facebook の活用法	18名
3月16日	Instagram の活用法	18名
3月23日	TripAdvisor の活用法	15名

(2) 賛助会員サービス

- ① コンベンションスケジュールの作成、提供
- ② メールマガジンの配信〔宿泊等の最新情報、市支援施策などの情報提供〕
- ③ 財団のホームページ、機関誌によるPRなど